

## 報告書原稿の第一次原稿の集約結果と編集方針

1. 第一次原稿集約結果:章ごとの提出状況(5月7日)は次のとおり。

| 章(執筆担当幹事)                    | 執筆担当        | 提出状況                        |
|------------------------------|-------------|-----------------------------|
| 序:                           | 亀田委員長       | 文案提出済み。                     |
| 1章 総説:                       | 亀田委員長       | 文案提出済み。                     |
| 2章 地震・津波工学に求められる原子力安全の基本事項   | 宮野副委員長      | 文案提出済み。                     |
| 3章 原子力発電所の地震・津波事故シナリオ        | 蛭沢幹事、中村幹事   | 文案提出済み。                     |
| 4章 原子力施設の地震・津波安全に関する性能       | 成宮幹事        | 文案提出済み。                     |
| 5章 リスク論に基づく津波防御の体系           | 高田幹事        |                             |
| 6章 津波の外力作用                   | 越村幹事        | 文案提出済み。                     |
| 7章 津波防御に関する工学の体系化            | 今村副委員長      | 文案提出済み。<br>「7.8 提案事例」は今後追加。 |
| 8章 フラジリティー評価                 | 香月幹事        | 文案提出済み。                     |
| 9章 施設周辺地域における防災・減災対策の推進      | 佐藤幹事        | 文案提出済み。                     |
| 10章 耐津波工学関連の解析コード            | 松山幹事        |                             |
| 11章 耐津波工学の体系                 | 今村副委員長      | 今後、すべての章の内容が揃った段階で記載。       |
| 付録:名簿、会合・シンポジウム等<br>開催実績、議事録 |             |                             |
| コラム                          |             |                             |
| 技術ガバナンス                      | (1章 亀田委員長)  |                             |
| 深層防護と共通原因故障の<br>関係・課題        | (2章 宮野副委員長) |                             |
| 事故シナリオ                       | (3章 中村幹事)   |                             |
| ドライサイトの定義                    | (4章 今村副委員長) |                             |
| リスク論の位置づけ・使い方                | (5章 高田幹事)   |                             |
| 多様性・多重性・独立性                  | (4章 成宮幹事)   |                             |
| 作用、外力、外力作用/影響・被害             | (6章 香月幹事)   | 文案提出済み。                     |
| 設計、照査                        | (6章 香月幹事)   | 文案提出済み。                     |

## 2. 編集WGの方針

- (1) ミッション:2014年末までに編集作業を終え、2015年2月に報告書を印刷・刊行する。報告書の刊行に向けて、原稿の内容調整、編集作業を行い、執筆者の修正作業のガイドを行う。WGでは、技術文書として正確さと詳細さを維持しつつ、読みやすくすることという位置づけでチェックを行う。WGからは記載の問題点を指摘するが、修正案は各章執筆担当にて行う。
- (2) 編集WGメンバー(敬称略):成宮祥介(主査:関西電力)、石黒幸文(中部電力)、糸井達哉(東京大学)、高橋郁夫(清水建設)、松山昌史(電力中央研究所)  
亀田弘行(委員長:京大名誉教授)

\*当初「編集幹事会」と称したが、委員会の幹事会と混同してはいけないので、編集 WG と名称を変更した。

(3) 作業のステップは次のとおり。

- ① **第一次原稿の集約**: 本日配布のものが最新版。
- ② **第一次原稿の内容整合チェック**: 編集 WG にて次の a)~f)の視点からのチェックを、全原稿が揃ってから行う。2014年4月22日の第1回編集 WG にて、年間の作業スケジュールと分担を決定。分担は、チェック品質の平準化を図ることから、以下の a)~f)を5名で分け、全章を通してチェックする。分担は次のとおり。  
a),b):石黒委員、c):糸井委員(ファイルおよびコメント表管理も)、d)e):高橋委員、f):成宮、松山委員(原子力工学と土木建築工学の両分野から相互に指摘)  
編集 WG メンバーはチェックした箇所とその理由をコメント表に整理する。
  - a) 内容の欠落・不足(節単位あるいは段落、箇条単位で記載が足りない、あるいは、文章が短すぎて内容の把握が難しい、と判断するもの。必要な理由が書いていないもの、用語の説明が要ると思われるにも関わらず無いもの。)
  - b) 章・節間の重複(表現として重なっている箇所がないか。重複を否定するものではなく、執筆者が意識的に強調するなどのために繰り返すことは問題ない。)
  - c) 章内の書き出し(「はじめに」と終わり(「まとめ」)との整合)
  - d) 他章、文献の引用箇所(内容ではなく)の妥当性
  - e) 記載内容とその章あるいは節のタイトルとの整合性
  - f) 用語の意味の統一。(たとえば、「保守性」。安全解析では安全サイドに余裕をもった解析条件を設定することなどを指すが、設備保全の分野では、メンテナンスの可能性・容易さを表す。用語の定義あるいは解説が要る。章間で共通の用語でトピックスとして説明するものは、「コラム」とし、用いた当該箇所で定義や説明が必要な用語は、脚注、注記、巻末用語集などの形式で説明する。)
- ③ **幹事会への報告**: 編集 WG から、チェック結果(修正の指摘など)を幹事会へ報告する。
- ④ **第一次原稿修正の指示**: 編集 WG は、各章の執筆担当幹事へ通知する。【編集 WG 主査より各章執筆担当幹事宛にメールする。】
- ⑤ **第一次原稿の修正**: 各章の執筆担当幹事が執筆担当へ指示し、各章のとりまとめを行う。ただし原稿の修正の方法(各執筆者に分担するか、一括して修正するかなど)は執筆担当幹事の判断に委ねる。
- ⑥ **第二次原稿の提出**: 各章の執筆担当幹事は、原稿の修正結果をひとつのファイルにまとめ、編集 WG へ「第二次原稿」として提出する。
- ⑦ **第二次原稿の状況報告**: 編集 WG は、返信されてきた第二次原稿について、その集約状況と修正原稿を幹事会へ報告する。
- ⑧ **第二次原稿の記載様式チェック**: 編集 WG は次の記載様式を中心にチェックする。
  - a) 表記(末尾など)の統一(たとえば、「視点」を記載するのに、疑問系で書いているか、

体言止めで書いているか。章間では執筆者の意思を尊重して、統一を求めないが、章内の節間、段落間、箇条間では統一すること。)

b) 記載様式(配置、フォント、行間字間、参考文献)既に亀田委員長より配布済み。

c) 図表、写真などの精細化。転載許諾の確認。図表などの出典明記。(これは参考文献番号を付すことでも良いが、図表単独で用いる場合に配慮し出典を記載する。)

⑨ **第二次原稿修正の指示**:編集 WG は、各章の執筆担当幹事へ通知する。【編集 WG 主査より各章執筆担当幹事宛にメールする。】

⑩ **第二次原稿の修正**:各章の執筆担当幹事が執筆担当へ指示し、とりまとめる。

⑪ **第三次原稿の提出**:各章の執筆担当幹事は、原稿の修正結果をひとつのファイルにまとめ、編集 WG へ「第三次原稿」として提出する。

⑫ **第三次原稿の集約**:編集 WG は、提出されてきた第三次原稿を確認する。

⑬ **幹事会・委員会への報告**:第三次原稿を幹事会に報告。9 月の委員会で他の章の記載、報告書としての趣旨、記載バランス、などを審議するため、事前に委員に配布し、意見をもとめる。

⑭ **コメントの受理と通知**:編集 WG は委員会、幹事会からのコメントを受け、整理の後、各章執筆担当幹事に修正を指示。

⑮ **第三次原稿の修正**:執筆担当幹事から執筆担当への指示により、修正を行い「最終原稿」として提出する。

⑯ **最終原稿の提出**:各章執筆担当幹事は編集 WG へ修正した最終原稿を提出する。

⑰ **最終原稿の確認**:編集 WG は最終原稿を②や⑧の視点から確認する。

⑱ **幹事会・委員会への報告**:最終原稿を幹事会へ報告し内容整合および記載様式の点からの修正を確認。12 月の委員会へ最終報告する。

スケジュール案

|                  | 4月          | 5月        | 6月 | 7月    | 8月 | 9月              | 10月 | 11月  | 12月             | 1月～ |
|------------------|-------------|-----------|----|-------|----|-----------------|-----|------|-----------------|-----|
| 委員会              |             | ◎<br>5/9  |    |       |    | ■ ◎             | ■   |      | ◎               |     |
| WG               | ■<br>4/18   | □<br>5/29 |    | □     |    | □ <sup>13</sup> | □   |      | □ <sup>18</sup> |     |
| 編集WG             | ① △<br>4/22 | ②         |    | ⑧     |    | ⑫               | ⑭   |      | ⑰               |     |
| 執筆担当幹事<br>(執筆委員) |             |           | ⑤  | ⑥     | ⑩  |                 |     | ⑮    |                 |     |
|                  | 第一次原稿       |           |    | 第二次原稿 |    | 第三次原稿           |     | 最終原稿 |                 |     |

以上